

あきこの一日

Teresa Binder

St. Mary's College
Queensland, Australia



学習者年齢： 15～16才
日本語レベル： 初級
文化面の目的： 日本の高校生の生活について知る
敬語など場面に応じた日本語の使い分けを学ぶ
学習する日本語： 既習の文型や語彙の復習

学習目標

- ・ 同世代の日本の高校生の一日の生活にまつわる事項について、ロールプレイを通じて学習する。
- ・ 学習場面の材料をそろえたり、日本語の台本を作ったり、発表することを通じて日本語の復習をする。試験を実施してもよい。
- ・ 上下関係に応じた敬語法など、さまざまな場面・機能に応じた日本語の使い方を習得する。

授業の進め方

<事前学習>

事前準備に1.5～2週間必要である。材料、会話文を作成しながら、試験前の復習を行う。

<進行方法>

教室を以下の6つの場面に分け、ロールプレイをする。場面1. 2. 5.は各4人、場面3. 4. は各3人、場面6.は2人が担当する。()内は所要時間。

1. 台所、食卓 (15分)
日本の朝ご飯を食べながら、今日の予定を話す。この日はあきこの誕生日なので、誕生日カードを渡したり、レストランの予約をしたりする。誕生日カードを作る。
2. 地理の授業 (25分)
校内放送で天気予報を流し、日本の気候や四季に応じたレジャー(花見や北海道の雪祭りなど)について、オーストラリアから来た先

生に説明する。子どもの日にちなんでこいのぼりを用意し、歴史的背景とともに解説する。日本地図、学校の規則を書いたリストを作る。

3. 学校の外または校舎内 (5分)
先生と生徒で、簡単な柔道の練習をしてみせる。
4. 旅行会社 (20分)
あきこが旅行会社に行き、オーストラリア人の友達のために、10日間の日本旅行の計画を立てる。交通機関、チケット、宿泊の手配、料金、観光名所、所要時間などについて相談する。旅行会社から得た情報をもとに、スケジュール調整とチケットの手配をする。2日間過ごす予定の富士山麓のフィットネスクラブの申込書に名前などを記入する。
5. 和食レストラン (20分)
あきこが両親と一緒にレストランへ行き、メニューを見ながら注文する。ウェイトレスがメニューにある料理や飲み物を説明する。日本の音楽が流れ、日本の美術品が飾ってある。
6. カラオケ
あきこがお兄さんやその仕事仲間と待ち合わせをする。カラオケで誕生日を祝う。

<ロールプレイ学習上の注意点>

演じる役に応じた的確に敬語を使い分けなければならない。例えば、あきこが先生と話をするときには、

友達と話するときよりもていねいな言葉づかいをする。レストランで、ウェイトレスはお客様に対してていねいにお辞儀をする。お客様である家族はそれぞれの立場に応じて決まった席に座る。

外国語学習と文化理解

クラスでは、自分の知識と限られた体験に基づきながら、場面に応じて日本人がどのように考え、行動し、話すかについて触れるようにしている。言語教育は常に、実際に起こりうる社会的文脈とともに教えられなければならないと思う。

文法項目を教える場合、例えば、生徒が今、混雑した東京駅にいて、一刻も早く切符を買わなければならない状況にあると想定させるなど、常に彼らが日本にいる状況を思い描けるように導いている。ビデオ、本、カセットもよく使い、生徒に日本に関する新聞や雑誌の記事を集めさせ、日本の現状を理解できるようにもしている。料理のレッスンも好評で、生徒はさし身も食べ、それがおいしいことを発見する。

予算が限られており、生徒にしてあげられることには限りがある。特別に「文化の日」を設けることはないが、文化の体験は言語学習のなかで大きな部分を占めている。生徒たちは文化を学ぶことにより、習った言葉を目的を持って使うことができる。